法人番号は先頭の左端の数字が検査用数字になります。以下のように算出します。

**●『法人番号検査用数字を算出する算式』**

法人番号は数字13桁で、先頭の数字が「0」になることはなく、必ず13桁となる。

先頭の数字は1〜9の検査用数字（チェックデジット）となっていて、それ以外の12桁の数字(基礎番号、商業登記法に基づく会社法人等番号)から次のように計算される。

**財務省令第七十号　第二条｝**より算式を抜粋
９－（　$\sum\_{n=1}^{n=12}Pn×Qn$　を９で除した余り）
算式の符号
P𝑛　基礎番号の最下位の桁を１桁目としたときの𝑛桁目の数字
Q𝑛　𝑛が奇数のとき　１、𝑛が偶数のとき　２

･･････････････････････････････････････････････････････････

＜計算手順は以下のようになります＞

・先頭の数字を除いた12桁の番号を右端の桁から取り出して、その桁が奇数ならば「1」、偶数ならば「2」を乗じる。

・これらの総和を求める。

・総和を「9」で割って余りを求める。

・「9」からその余りを引いた値がチェックデジットとなる。

　　（こうすることで1から9までのいずれかの整数になります)

<計算例> 法人番号が　7123456789012　の場合

(2×1)+(1×2)+(0×1)+(9×2)+(8×1)+(7×2)+(6×1)+(5×2)+(4×1)+(3×2)+(2×1)+(1×2)=2+2+0+18+8+14+6+10+4+6+2+2=74

 74／9 ＝ 8 余り2

 9－2 ＝ 7 　　　∴チェックデジットは｢7｣

〇チェックデジットを算出するエクセル計算式

（セルA1に法人番号を入力すると、この式を入力したセルにチェックデジットが表示されます）

＝9－MOD(SUMPRODUCT(MID(TEXT(A1,"0000000000000"),{2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13},1)\*{2,1,2,1,2,1, 2,1,2,1,2,1}),9)

■この法人番号ﾁｴｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの利用機会が少ないと思います。

必要な法人番号や法人名、住所等はインターネットで公表される予定で、直接ダウンロードが可能なので、法人番号を直接入力する機会は少ないでしょう。

ただし、現在会社内で取引先法人に振り当てている番号を、法人番号に切り替えるのであれば、必要となるでしょう。

エクセルでもVLOOKUP関数を使えば、法人番号を入力するだけで住所、会社名等を呼び出せるシート作れそうです。残念ながら日本の法人数はH25年で約260万。EXCEL2007、2010のシートの最大行数は約104万行。全国の法人データを1つのシートにはまとめられません。データは分割されているでしょうから、使用頻度の多い地域のデータを利用するしかなさそうです。一つにまとめるにはACCESSなどデータベースソフトが必要でしょう。